

静岡自動車株式会社

第87期 (平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日)

貸借対照表及び損益計算書

貸借対照表 P2

損益計算書 P3

個別注記表 P4

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部		負債及び純資産の部	
< 流動資産 >	< 57,809,984 >	< 流動負債 >	< 33,235,109 >
現金及び預金	42,440,344	買掛金	105,996
売掛金	4,624,432	未払金	26,331,186
貯蔵品	10,990	未払費用	599,363
前払費用	3,178,598	未払法人税等	529,100
繰延税金資産	475,365	前受金	4,415,464
リース投資資産	6,087,830	賞与引当金	1,254,000
未収入金	2,598	< 固定負債 >	< 373,262,076 >
立替金	39,120	関係会社長期借入金	370,000,000
未収消費税等	988,912	役員退職慰労引当金	1,833,500
貸倒引当金	△ 38,205	預り保証金	1,428,576
< 固定資産 >	< 463,235,453 >	《 負債合計 》	《 406,497,185 》
[有形固定資産]	[449,115,993]	< 株主資本 >	< 114,548,252 >
建物	257,148,113	[資本金]	[16,000,000]
構築物	269,670	[利益剰余金]	[98,548,252]
車両運搬具	102,808,801	利益準備金	4,000,000
什器備品	5,093,167	(その他利益剰余金)	(94,548,252)
土地	83,796,242	繰越利益剰余金	94,548,252
[無形固定資産]	[2]	《 純資産合計 》	《 114,548,252 》
ソフトウェア	1		
電話加入権	1		
[投資その他の資産]	[14,119,458]		
繰延税金資産	12,041,498		
長期前払費用	2,077,960		
資産合計	521,045,437	負債及び純資産合計	521,045,437

損益計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

売上高		160,344,000
売上原価		137,777,889
売上総利益		22,566,111
販売費及び一般管理費		47,945,896
営業損失		25,379,785
営業外収益		433,106
受取利息	12,822	
その他の営業外収益	420,284	
営業外費用		2,961,107
支払利息	2,959,987	
その他の営業外費用	1,120	
経常損失		27,907,786
特別損失		3,154
固定資産除却損	3,154	
税引前当期純損失		27,910,940
法人税、住民税及び事業税		529,100
法人税等調整額		△ 8,557,229
当期純損失		19,882,811

個別注記表

重要な会計方針に係る事項

1 固定資産の減価償却方法

有形固定資産・・・定率法

ただし平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）

については、定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 38年

車両運搬具 3～6年

2 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法に定める繰入限度額（法定繰入率）を基に今後の回収可能性を勘案した率により計上しています。
- (2) 賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、当事業年度中に負担すべき支給見込額を計上しています。
- (3) 役員賞与引当金 役員の賞与支給に備えるため、当事業年度中に負担すべき支給見込額を計上することとしています。なお、当事業年度中に計上すべき金額はありません。
- (4) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき当事業年度末において発生していると認められる額を計上しています。
なお、退職給付債務の額については、簡便法（退職給付に係る当事業年度末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法）を適用して計算しています。
- (5) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しています。

3 重要な収益および費用の計上基準

ファイナンス・リース取引に係る売上高および売上原価の計上基準

リース料を収受すべき時に売上高および売上原価を計上する方法によっています。

4 消費税等の会計処理 税抜方式によっています。